



INTERNSHIP REPORT  
2000



JITMT  
プログラム  
インターンシップ・  
レポート

2000年度版



日本貿易振興会  
JETRO

# Eコマースの スペシャリストを目指す。 会社の戦略の一助として期待。

## 所感文

### 世界一のネットワーク会社を 目指す 受入企業

私がジェトロを通して日本に来たのは、高水準のコンピューター・情報技術を学びたいと思ったからである。日本に来る前、私は日本のビジネス環境に溶けこめるかどうか心配であった。というのは、日本人は感情のない仕事ロボットだと聞かされていたからである。しかし、マクロ社に来てみてわかったのは、日本人はとても人間的な人々で、世界水準の技術を維持しながらも人生を楽しんでいるということであった。

マクロは群馬最大のコンピューター企業であり、地元では一番の老舗でもある。が、職場の環境については理想と現実が大きく違っていることがわかった。私がインターンシップを希望し、マクロへの配属に応じたのは、この会社がコンピューター・ネットワークの専門企業であると思ったからである。私はオハイオ大学でコンピューター・ネットワークを専攻している。それなのにこの会社は当時、広帯域のインターネット・アクセスも装備していなかったのである。実際これはショックだった。苦い現実が日本でのインターンシップ生活に暗い影を投げかけているように思えた。

しかし、マクロの社長に会って話をしてみると、その心配も雲散霧消した。社長は将来についてははっきりしたビジョンを持っている人だった。その時点ではマクロはコンピューター・ネットワークの会社ではなかったのだが、いつか日本の、ひいては世界一のコンピューター・ネットワーク企業になろうと志していた。私がマクロにインターン生として招かれ

たのも、インターネットやネットワークに関するアメリカの先端技術を導入したいという社長の強い希望があったからである。私は思った。「この人が会社を動かしているかぎり、会社は安泰だ。ということは私のインターンシップも安泰ということだ」。そして私は、この会社がネットワーク技術を、そして国際感覚を身につけられるのならば、どんな手助けでもしようと思うようになっていた。

私たちインターン生計3名は、社長の戦略でネットワーク技術部の中枢に配属されることになった。私はウェブ・Eコマース部門に、他にはコンピューター・セキュリティ部門に配属されたものもいる。私は主にオンライン取引を担当し、会社が最先端技術を導入できるよう努力してきた。現在はウェブ開発チームに所属している。私が舌を巻いたのは、会社の人たちがほんの半年でEコマースの関連技術をマスターしてしまったことだ。従来の業務コードからオンライン取引へと、マクロは製造業の過渡期をほぼ乗り越えようとしている。私たちはXMLを含め、あらゆるハイテクを駆使しているのだ。

ネットワーク、多言語システムを学んだ経歴を活かし、今はリナックスのプリントサーバーのコード作成を担当している。米国では、いくつかの研究図書館で日本語のテキスト情報システム関係の仕事させてもらったことがある。その仕事では、日本語のデータベースの保守や日本語コード変換などをやっていた。また、米国仕様のOS(ユニックス、リナックス、MSウインドゥズ、マックなど)に日本語環境を設定するという仕事もした。この経験のお陰で、マクロでは技術アドバイザーとして、またオンライン・E

## インターン生

### Mr. Young Joon Moon



オハイオ大学  
専攻:コンピューター・サイエンス

## 受入企業プロフィール

### マクロ(株)

業 種: ソフト/アプリケーション開発  
従業員: 70名  
受入部署: マクロ インフォテック  
所在地: 群馬県高崎市  
研修期間: 2000年6月より1年  
宿泊先: ウィークリーマンション

40 REPORT

「マクロ」の  
「マクロ」の  
「マクロ」の

コマース取引のスペシャリストとして会社の一助となることができた。

### 英語の授業を受け持つことが 個人的なレベルでの 相互理解の機会

マクロでは、インターネットでの情報収集・ウェブ技術の取得などを助ける一方、週2回英語の授業を受け持つことになった。インターネット技術のスペシャリストになるためには英語が必須となるからである。最新情報はほとんどすべて、英語で書かれているのだ。私は韓国人であるが、オハイオ大学電気工学部の大学院で学んでいる。研究をするうえで必要な情報を得るのに困らない程度には、英語も日本語も身につけている。自分でできたからこそ、人にも英語を教えたいと思うのだろう。ネイティブである他のインターン生の尽力も得ることができた。

ボランティアで始めたこの英語の授業を通して学べたのは英語ばかりではない。それぞれの国の風俗習慣や、その国特有のボディランゲージなどにもふれることができた。つまり、自国の文化を交換することにより、単に職場の同僚というだけではない、個人的なレベルでの相互理解の機会を得ることができたのである。

日本では通信料が割高であるせいか、人々はNTTドコモ

のiモードシステムを使ってインターネットを利用している。このため欧米の人々は、日本人が欧米人ほどインターネットを利用していないのではないかという間違った印象を抱いている。実際、多くの人々が携帯電話でインターネットをやっているが、情報収集やEコマースのためよりも、個人的な楽しみのために利用することの方が多い。

しかしながら、NTTは現在、光ファイバーケーブルを日本全国に張りめぐらそうとしている。あと5年もすれば日本は間違いなく世界の情報の中心となることだろう。例えば、NTTドコモのiモードのお陰でモバイル技術のメッカはスキャンナビア諸国から日本へと代わりつつある。陸線ネットワーク技術の流れは日本へと移ってきているのだ。

この急激な過渡期にあたり、マクロは新しい情報の「津波」に真っ向から立ち向かおうとしている。近い将来、この会社は間違いなくコンピューター・ネットワーク企業の雄となることだろう。



今は仕事が引けるとホームページを作成している。英語を母国語とするインターン生や、日本に関わっているビジネスマンが日本語を身につけられるようにと作っているものだ。日本にいる間に、自分の経験や他の人々から聞いた話を活かして外国人のためのサバイバルガイドを書きたいとも思っている。私のホームページは<http://e-japanese-online.org> で見ることができるので参照してほしい。

第2巻

## MACRO IB NOW

～2000年4月19日発行～

社員名簿

2000年4月19日  
発行部数 1,000部  
発行 文庫 1冊

理事の顔、社員の笑顔におかれています。日々勤務の華と存じます。

さて、1月にもお集まりいただきありがとうございました。今年度はより充実したインターン生生活を送るべく取り組んでいます。ご協力いただき、誠にありがとうございます。ご声援をいただき、誠にありがとうございます。ご声援をいただき、誠にありがとうございます。

●インターン生御紹介●

■Alexander Tsubota (アレックス・ツボタ)  
-2000年4月12日より1年間滞在予定  
-インディアナ州、ブレイムズビル出身(米国、ミズーリ州出身)  
-1998年11月9日生  
-サッカー、スキー、チェス、将棋、インターネット、フットボール、ダンス、コンピュータの研究、インターネット、文筆及びそれが人間の経験にもたらす影響の研究に、興味があります。

■Young Joon Moon (ヤングジョンムン、文京東)  
-2000年4月12日より1年間滞在予定  
-ソウル国立大学の大学院生(韓国、大邱市出身)  
-1988年1月23日生  
-平壤(北朝鮮)の出身(韓国、韓半島の中心地)を10年間滞在。

■Anika Kimbrell (アニカ・キンブレール)  
-2000年4月12日より4ヶ月間滞在予定  
-ワシントン大学の大学院生(米国、ハワイ州出身)  
-1976年8月25日生  
-「最後のマードック」の中で、サム・マクローを愛する。

※インターン生に関するお問い合わせは、事務局 課長まで  
お気軽に連絡下さいませ。(info@macro-japan.org) 以上

社内報「MACRO IB NOW」

(2000年4月19日)